

「世界自閉症啓発デー」に当たっての文部科学大臣メッセージ

平成26年「世界自閉症啓発デー」を迎えるに当たり、メッセージをお送りします。

本日4月2日に、「世界自閉症啓発デー」は7年目を迎えました。また、日本では、本日から8日までを「発達障害啓発週間」として、自閉症をはじめ発達障害についての正しい理解の啓発に取り組むという活動を行っております。

文部科学省としても、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等に在籍している、自閉症をはじめ発達障害のある子供たち一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を行うことができるよう、関係機関が連携した特別支援教育の体制整備を進めているところです。特に、本年批准した障害者の権利に関する条約において提唱されている「インクルーシブ教育システム」の構築や発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援、教職員の専門性向上等に関して引き続き注力してまいります。

この「世界自閉症啓発デー」を契機に、自閉症をはじめ発達障害のある子供たちが自分の持つ能力を存分に発揮できるよう、全ての教育関係者が、一人一人の子供たちを慈しみ育てる視点を再確認し、また、保護者の方々の気持ちに寄り添った支援について真摯に考え、実践していただきたいと強く願っております。文部科学省としても、全ての子供たちが、生き生きと充実した学校生活を送ることができるよう、より一層努力をしてまいります。

平成26年4月2日
文部科学大臣
下村博文